株式会社LSIメディエンス
INFORMATION
Vol.26-42 N-14
発行　2026年 11月

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(https://www.medience.co.jp/)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

● [14146] CXCL10

受託開始日

● 2026年11月10日（火）

LSIメディエンス
A Member of PHC Group
〈本社〉〒174-8555　東京都板橋区志村3-30-1
インフォメーション　TEL. 03-5994-2111
https://www.medience.co.jp/

総合検査案内
アプリはこちら
iPhone 用
Android 用

CXCL10

CXCL10（C-X-C motif chemokine ligand 10）は、IFN-γによって誘導される炎症性ケモカインの一つです。HTLV-1関連疾患であるHTLV-1関連脊髄症（HTLV-1-associated myelopathy：HAM）の病態形成に重要な役割を果たすことが知られています。HAMでは、脊髄局所で産生されたCXCL10がHTLV-1感染T細胞を脊髄組織へ遊走・集積させ、炎症の持続および増悪に関与していると考えられています。

HAMの疾患活動性は、比較的短期間で歩行障害が進行する「高（急速進行例）」、発症後に緩徐な進行を示す「中（緩徐進行例）」、症状が軽度で進行がほとんど認められない「低（進行停滞例）」に分類されます。

本検査では、保険収載された測定試薬を用いて髄液中のCXCL10濃度を測定することでHAMの疾患活動性分類の補助が可能となり、治療方針の検討および治療効果判定に有用です。

検査要項

項目コード	14146
検査項目名	CXCL10[*1]
検体量	髄液　0.5 mL　［容器番号：12番］[*2]
保存方法（安定性）	凍結（1週）[*3]
検査方法	EIA法
基準値	HAMの疾患活動性分類の補助 高：2,500 pg/mL 以上 中：　180 pg/mL 以上～2,500 pg/mL 未満 低：　180 pg/mL 未満
報告下限	156 pg/mL 未満
報告上限	10,001 pg/mL 以上
報告桁数	整数
所要日数	事前にご確認ください
検査実施料	1923点（D004 穿刺液・採取液検査　CXCL10（髄液））
判断料	34点（尿・糞便等検査判断料）
備考	＊1：同一検体で他項目との重複依頼は避けてください（単独検体）。 ＊2：必ず指定容器に採取してご提出ください。指定外容器を使用した場合、データが低下する可能性があります。また、検体採取後の容器の移し替えは避けてください。 ＊3：検体は－70℃以下で凍結保存した場合、最長3カ月間保管可能です。

● 令和8年9月30日付け厚生労働省保険局医療課長通知「保医発0930第2号」一部抜粋

（15）　CXCL10（髄液）は、HTLV-1関連脊髄症の疾患活動性評価の目的で、以下のア又はイのいずれかに該当する患者においてELISA法により測定した場合に、原則として1年に1回に限り、本区分の「14」リン酸化タウ蛋白の所定点数と「15」アミロイドβ42/40比の所定点数を合算した点数を準用して算定する。ただし、治療内容を変更した場合等、医学的必要性がある場合には、1年に1回に限り更に算定できる。なお、いずれの場合も、算定に当たっては以下のア又はイのいずれの対象患者に該当するか及び医学的必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

ア　新たにHTLV-1関連脊髄症と診断された患者

イ　既にHTLV-1関連脊髄症と診断されている患者のうち、疾患活動性が「高」又は「中」と評価された患者

【容器番号：12　CSF容器】



容量	2.5 mL
添加剤	―
保管方法	常温
有効期間	容器表示および箱表示
主な検査項目	髄液中リン酸化タウ蛋白/アミロイドβ42比, CXCL10

【検体提出の注意事項】
・必ず指定容器に採取してご提出ください。
・指定外容器を使用した場合、データが低下する可能性があります。
・検体採取後の容器の移し替えは避けてください。